



▼ 移住に関するお問い合わせ ▼

志摩市	志摩市 観光経済部 経済課	TEL 0599-44-0010 E-mail keizai@city.shima.lg.jp
三 重	三重県 地域連携・交通部 移住促進課 移住促進班	TEL 059-224-2420 E-mail iju@pref.mie.lg.jp
東 京	ええとこやんか三重 移住相談センター	TEL 080-9512-5093 E-mail mie@furusatokaiki.net
大 阪	大阪ふるさと 暮らし情報センター	TEL 090-1599-3111 E-mail iju@osaka-furusato.com



志摩市移住 HP



志摩市公式 LINE



志摩市公式
Instagram

SHIMA CITY
IJU GUIDE BOOK



発行元 / 志摩市 観光経済部 経済課

〒517-0592 三重県志摩市阿児町鵜方 3098-22

TEL 0599-44-0010

E-mail keizai@city.shima.lg.jp

SHIMA CITY IJU GUIDE BOOK



海と暮らす志摩





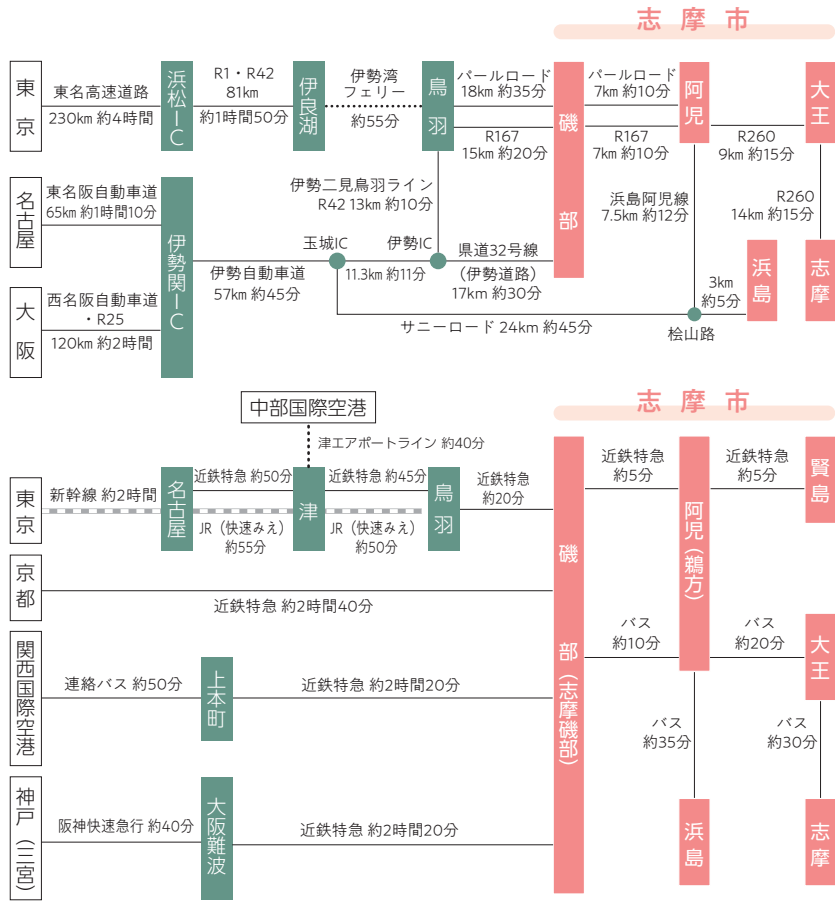
志摩市ってこんなところ

市全体が国立公園

志摩市は、三重県の東南端に位置します。市全体が伊勢志摩国立公園の中にあり、リアス海岸をはじめとする美しい海岸線が素晴らしい景観をつくる海のまちです。古くから志摩の人々は豊かな里と海の恵みを受け、また自然を守りながら生活してきました。サーフィンや釣り、ゴルフ等いろいろな趣味を楽しむのもよし、何もせず海を見ながら風に吹かれるのもよし。都会とは違うゆったりとした時間の中で新しい生活にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

ACCESS

車で来られる方



※詳細につきましては、各交通機関にお問い合わせください。

公共交通機関で来られる方



子育て・教育

市内には保育所(園)は公立3施設・私立2施設、幼稚園が公立1施設、認定こども園は公立4施設、私立1施設、放課後児童クラブが公立・私立合わせて9施設あります。

また、小学校が7校、中学校6校、高校が3校あり、伊勢志摩国立公園の豊かな自然の中で子育てができます。

※R9.3月末で浜島中学校閉校

買い物・交通

市の中心、阿児町鵜方には大型ショッピングセンターやスーパーマーケット、ドラッグストアなどが多く集まっており、日常生活をおくる上で必要な物はほとんどそろいます。

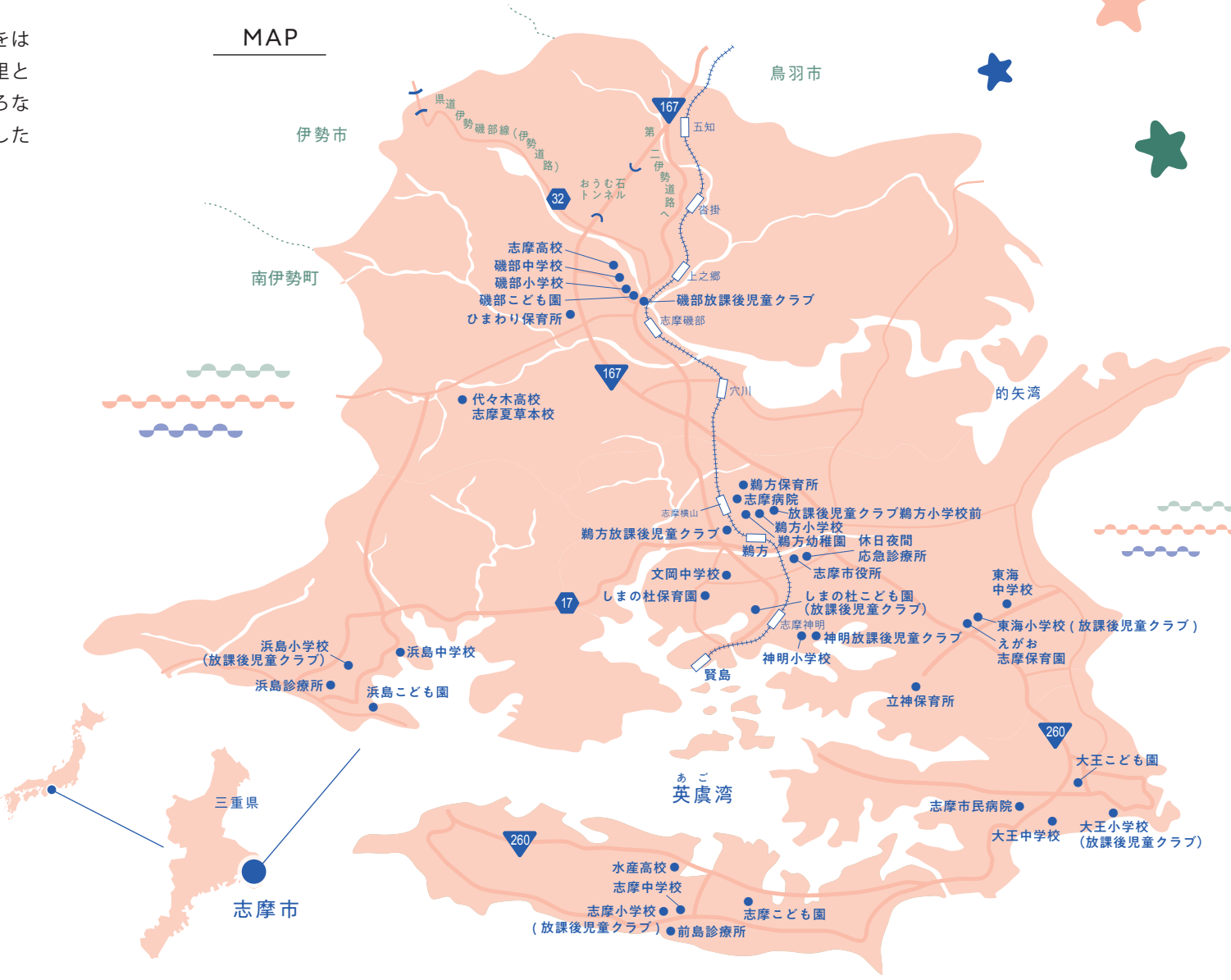
また、市内には電車、バス、タクシー、定期船など様々な交通手段があり、日々の生活を支えています。

医療・高齢者福祉

市内には、基幹となる県立病院と市立病院と、2か所の市立診療所があり、個人経営の医院も多数あります。

また、高齢者が安心して暮らし続けられるよう、行政、医療機関、福祉サービス事業者、地域住民や自治会などが連携し支援する仕組みが構築されています。

MAP



志摩市での仕事は？

豊かな自然の中での水産業・農業や観光地ならではの観光業など

ほかに介護職や看護職の募集も多くあります。市内に限らず、生活圏内である伊勢市や鳥羽市、南伊勢町などに通勤している人もたくさんいます。起業をする上でも、インターネット環境は整っていて、観光地として交流人口が多いことも強みです。

海で働きたい

真珠やカキ、青さのり等の養殖業、海女・海士の素潜り漁、イセエビなどの刺し網漁やあおりふぐなどはえなわ漁、カツオなどの一本釣り漁及び定置網漁、巻き網漁など、さまざまな漁業が営まれているのが海のまち志摩市の漁業の特徴です。



- 志摩市水産課：TEL 0599-44-0289
- 三重県漁業担い手対策協議会：TEL 059-228-6670
- 漁師 jp 全国漁業就業者確保育成センター：TEL 03-6450-4666



農業がしたい

志摩市で農業のイメージはあまりないかもしれませんが、きんこ（干し芋）やいちご、お米などさまざまな農業が営まれています。

農業をするためには、どこで何をするかを決め、その上で施設整備を含めたいろいろな準備が必要です。志摩市では、JA や三重県と協力しながら就農をサポートしています。



- 志摩市農林課：TEL 0599-44-0288
- 伊勢農林水産事務所
伊勢志摩地域農業改良普及センター：TEL 0596-27-5170
- 伊勢農業協同組合 営農部：TEL 0596-67-2033



仕事を探したい

志摩市には、国と市が共同で運営する「志摩市ふるさとハローワーク」があります。どんな仕事があるのか、具体的な求職活動の仕方がわからないなど、就職に関するさまざまな相談にのってくれます。インターネットでも求人情報が公開されています。

- 志摩市ふるさとハローワーク：TEL 0599-46-0986 <https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>

先輩移住者の声を聞いてみました

力を合わせて志摩の活性化に取り組んでいます

私たち2人は志摩市で地域おこし協力隊として活動しています。「地域おこし協力隊」は地方が都市部の人材を受け入れ、地域活性化に向けた取組を担うことを目的とした制度です。私たちは地域おこし協力隊として、自分たちのスキルや経験を活かし、行政や地域の団体と連携し、移住定住の促進や地域活性化に向けた活動を行っています。

志摩市は豊かな自然環境やおいしい食べ物、美しい景観など、魅力にあふれたまちです。その魅力を私たちが一人でも多くの方々に伝え、志摩を好きになってもらい移住につなげていくだけでなく、地域の方々と協力しより魅力的なまちにしていきたいため、これからも力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

志摩に興味がある、移住を考えている方がいらっしゃれば、私たちが志摩の魅力をご紹介しますので、ぜひ私たちに会いに来てください！



西田糸垂さん



中島健太さん

素朴だけど幸せな生活です

志摩には頻りにサーフィンをしに来ていました。その度に、地元の方と触れ合うことも増え、「良い人が多い」「この町いいな」と思い、「移住しちゃえ！」ということで、家族で移住しました。住まいは不動産業者さんに紹介してもらって、古いけれど安い物件を購入。その後、市のリノベーション補助金を活用したり、仲間に協力してもらったりして改修しました。現在もDIYを楽しみながら継続中です。

移住するのに経済的な不安もあると思いますが、都会と比べると志摩では生活費が少なく済みます。子育てに関しては、都会よりも児童数は少ないですが、その分みんなと顔見知り。先生とも密にかかわってもらえてしっかり見てくれるので安心です。子どもも楽しそうです。

42歳のときに妻、子どもと移住。大阪と志摩でスポーツ関連の仕事に就きながら、家族でサーフィンはもちろん、自宅のDIYを楽しみながら生活している。



中島亮さん 郁美さん 流唯さん

移住して最高です!!
予想以上です!!



出身地：大阪
現在在住地：阿児町立神

高橋奎介さん

志摩市地域おこし協力隊員の任期を終え、現在 JA の長沢ファームへ就職し、ご家族と立神に在住。

志摩市の特産品レッドパールを生産。美味しいイチゴを食べてもらえるよう日々奮闘しながら、自然豊かな志摩市で家族と楽しく過ごしています。



出身地：インドネシア
現在在住地：阿児町国府（移住・Uターン）

星野リアン・美帆夫妻

インドネシア料理のお店を二見から移転。子供とサーフィンのできる海の身近な生活をすごし、充実した日々を過ごしています。



大好きな船越に帰ってくるのができて幸せです！



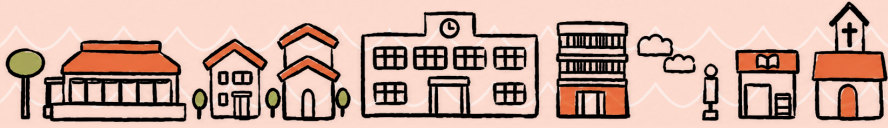
出身地：船越
現在在住地：大王町船越（Uターン）

廣田桃子さん

10 年程津市、広島県などを転々としており、最終は伊勢市から船越へ家族で U ターン。志摩市の土産物になるアクセサリーを作りながら、家族と楽しく暮らしています。



移住者支援制度



【子育て・教育】

妊娠・出産・子供の医療

● 不妊治療費助成

保険適用の有無に関わらず、経済的に大変な治療を志摩市が助成します。

【事業詳細】

志摩市不妊治療サポート事業、不育症治療費助成事業、着床前胚染色体異数性検査（PGT-A）を含む特定不妊治療費助成事業、特定不妊治療費（先進医療）助成事業、保険適用後の特定不妊治療に対する回数追加助成事業の5種類。

◎健康推進課 0599-44-1100



● 出産祝い金

出産後の家計をサポート！1人あたり20万円を支給します。

◎こども家庭課 0599-44-0282



● 妊産婦アクセス支援

市外の病院での妊婦・産婦健診や出産にかかる交通費を助成します。

※令和8年4月1日以降の妊産婦対象

◎健康推進課 0599-44-1100



● 子ども医療費の補助

病院を受診した際に医療費の自己負担を補助します。18歳の年度末まで県内受診であれば自己負担は不要です！

◎保険年金課 0599-44-0213



● 病児保育無料

病児保育室の利用料を無償化しています。

◎こども家庭課 0599-44-0282



● 妊婦支援給付金

母子健康手帳交付時と赤ちゃん訪問後にそれぞれ5万円を支給します。

◎健康推進課 0599-44-1100



● 子育てつながるギフト

出産されたご家庭に、地域で使える商品券 5 万円分をお渡します。

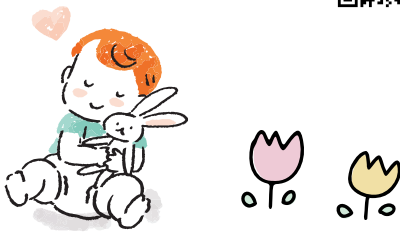
◎健康推進課 0599-44-1100



● 子育て支援センター

保育所等に通っていないお子さんと、家族のふれあいの場です。毎月様々なイベントも実施！電話での子育て相談も行っています。

◎こども家庭課 0599-44-0282



● ファミリー・サポート・センター

「子育ての援助を求めている人」と「援助できる人」が会員となり、会員間で子育ての援助を行う仕組みです。初めて利用する依頼会員には最大4時間の無料お試し制度あり！

◎ファミリー・サポート・センター
0599-44-0292



教育・学びのサポート

● 給食費完全無料

保育所・認定こども園、幼稚園、小中学校に通う3歳児以上のすべての児童・生徒の給食費が無料。学校給食にて月に一度、地元食材の給食を提供！

◎学校給食センター 0599-43-4735
◎こども家庭課 0599-44-0282

● 修学旅行費支援

小学校・中学校での大切な思い出「修学旅行」の費用を一部補助します。

【補助金額】
小学校に在籍する児童の保護者1人につき15,000円
中学校に在籍する生徒の保護者1人につき35,000円

◎教育委員会事務局 学校教育課
0599-44-0336



● 進学応援金

経済的に厳しい中で進学する学生をサポート。高校等へ進学する方に8万円、大学等へ進学する方に15万円を、それぞれ入学時に給付します。

◎教育委員会事務局 教育総務課
0599-44-0315



● 奨学金制度（貸与型）

志摩市に住所があり、高校や大学などに通うための費用負担が困難な方を対象とした「貸与型」の奨学金制度です。

【補助金額】
高校など：月額2万円（年額24万円）
大学など：月額3万円（年額36万円）
※3か月分ずつ、年4回（6月・9月・12月・2月）に分けて振り込まれます。

【申込期間】
毎年4月5日から4月20日まで（土・日除く）

◎教育委員会事務局 教育総務課
0599-44-0315



● 下宿費補助

遠距離等の理由により自宅からの通学が困難なため、志摩市内の下宿等から市内県立高校に通学する生徒の保護者の方に、下宿費の一部を補助します。

【補助対象額】
対象経費／在学期間中の部屋代（賃借料）
※食費・個人的に使用する費用・敷金、礼金は対象外
対象額／補助対象経費の月額
※上限15,000円、1,000円未満切り捨て

◎教育委員会事務局 教育総務課
0599-44-0315





【暮らし・仕事】

暮らしのサポート

家



● 空き家バンク

移住・定住を希望される方に空き家に関する情報提供を行います。

◎営繕課 0599-44-0306



● 子育て移住者 空き家住宅取得支援

子育てを支援するため、18歳未満の子どもを養育する移住者が空き家を購入する費用（土地代除く）に対し、予算の範囲内で補助します。
※移住促進空き家改修支援事業補助金を合わせて活用する場合に利用できる補助金です。

【補助額】
空き家購入費用（土地代除く）の2分の1に相当する額。
（上限30万円）

◎営繕課 0599-44-0306



● 空き家改修への支援

移住者が空き家を住宅（店舗併用住宅）としてリノベーションするにあたり、その費用の一部を補助します。

【補助額】
県内移住者：改修工事費の3分の2（上限100万円）
県外移住者：改修工事費の6分の5（上限125万円）

◎営繕課 0599-44-0306



● 若者・子育て家賃支援補助

若者・子育て世帯の移住者に対し、市が定める一定の要件を満たした場合、家賃の一部を1年間（1次産業に就職されている方は3年間）補助します。

〈補助額〉
家賃の2分の1（上限2万円/月）

◎経済課 0599-44-0010



暮らしのサポート

仕事

● 創業支援

【創業支援制度のご案内】
志摩市では、市内で新しくお店や会社を始める方や、新しい分野に展開する事業者の皆様を応援するため、準備にかかる費用の一部をサポートする「創業支援補助金」をご用意しています。

※市内で新たに事業所（店舗や事務所など）を開設するための改修工事や、備品の購入にかかる経費の一部を補助します。

【最新の制度内容は必ず市ホームページでご確認ください】
「自分のビジネスは対象になる？」「どれくらいのサポートを受けられる？」など、これから創業をお考えの方は、事業計画を立てる前に、ぜひ市の公式ホームページで最新情報をご確認いただくか、担当窓口までお気軽にご相談ください。

◎経済課 0599-44-0010



● 農業生産者の育成

農業生産者が行うビニールハウスの設置や農機具の購入費用の一部を補助します。

〈対象経費〉 ①農業用のビニールハウスの設置等

②農機具の購入

〈補助金額〉 対象経費の2分の1以内（上限15万円）

◎農林課 0599-44-0288



● 新規漁業就職者への支援

新規に漁業を始める方に対し漁業資材等の購入費を補助します。

〈補助内容〉 ①漁船等購入費

②漁業資材購入費（漁網・フロート等）

〈補助金額〉 補助対象経費の自己負担分の2分の1以内
（上限30万円）

◎水産課 0599-44-0289



暮らしのサポート

その他

● 移住支援金

東京圏、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県から志摩市へ移住し、仕事やテレワークをされる方の「新しい生活のスタート」を支援します。

〈給付金額〉

世帯での移住：100万円

単身での移住：60万円

◎経済課 0599-44-0010



● 奨学金返済の支援

市内に在住する30歳以下の奨学金を返済されている方に対して、奨学金返済額の一部を補助します。

〈補助金の額〉

奨学金返済額の2分の1（上限20万円/年）

◎経済課 0599-44-0010



● 未来人材奨学金補助制度

市内の事業書が、従業員の奨学金を代わりに返済（代理返還）する場合、その負担額の一部を補助します。

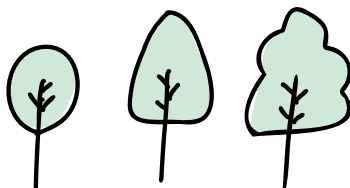
〈給付金額〉

対象従業員1人につき最大10万円/年

補助率：事業者が代理返還した額の2分の1

※1人あたりの通算補助額は100万円が上限

◎経済課 0599-44-0010



移住関連事業

保育園留学

子育て世帯を対象に、子どもが市内の保育園に通いながら、家族で地域に滞在できる「志摩市で暮らしているような体験」を提供するプログラムです。志摩市の保育園留学に参加して、かけがえのない一瞬をご家族で楽しみませんか？

●連携：株式会社キッチンハイク
学校法人洗心學舎しまの杜こども園



おだやかな英虞湾のそばで、心身を満たすスローライフを体験してみませんか？



観光じゃ見えない、
海辺の町の
「買い出し・仕事・子育て」
リアル体感ツアー



移住体験ツアー

「海辺の町で暮らしたい」「漁師町の生活を体験してみたい」そんな思いの方へ、リアルな暮らしを体験できます。決まった日程のツアーではなく、体験者の都合と希望に合わせてプランを作成するオーダーメイド型の移住体験ツアーを実施しています。

●一般社団法人 ジャマテラス



サーフィン移住体験

志摩市サーフィン活用推進協議会および志摩市では、サーフィンをきっかけとした移住定住の促進を図るため、サーフィン移住体験事業を実施します。

◎応募期間あり
※定員に達した場合は、締め切りを持たず定員に達した時点で終了とさせていただきます。

●サーフィン活用推進協議会



「週末サーファー」を卒業する。
海まで数分で叶える、
サーフィンが中心の暮らし



気ままに 志摩空間。

おだやかな空間に心をほどこき、
澄みきった海とまちのぬくもりにいやされる、
とっておきの「志摩空間」へようこそ。



魅力的なホテルが多い

世界のVIPに愛された、最高峰のホスピタリティが息づく街。G7サミットの舞台からミシュランキーまで。志摩は「泊まる」が主役になる旅先です。

*令和7年10月8日発表（第2回ミシュランキー）

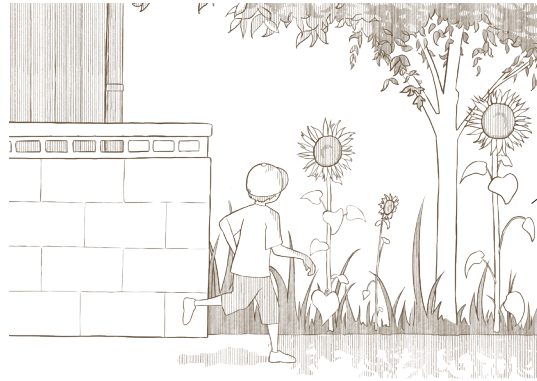
海水浴場の水質がキレイ

市内5つの海水浴場の水質は最上級の水質AA！
*令和7年度水質調査結果（県・市実施）



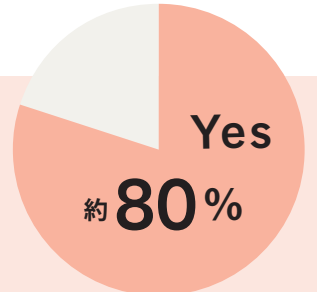
温暖な気候

平均気温…約16度
◎冬（12月～2月）…6.9度
◎夏（7月～9月）…27.1度
*気象庁HP



志摩市に住んでよかった♪

アンケートの結果、約8割の方が「ずっと住みたい」と回答
※令和7年度まちづくりアンケート結果



hotel

warm